

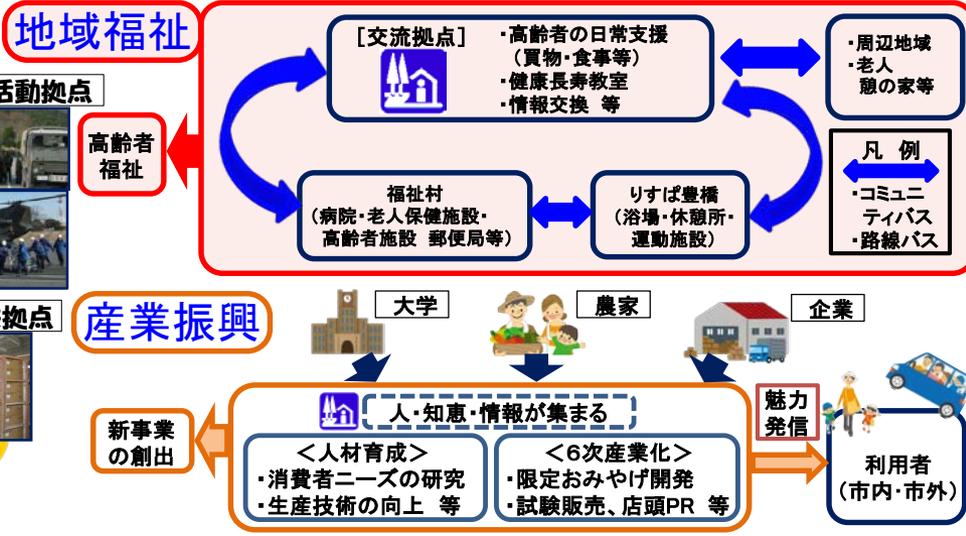
道の駅「(仮称)とよはし」

- 南海トラフ地震等に備えるため、「道の駅」を『豊橋市地域防災計画』に位置づけ、防災活動拠点として整備
- 「道の駅」において、高齢者の参画する交流イベントの開催や、買物・飲食・休憩(交流)等日常生活を支援するとともに、「道の駅」と福祉関連施設をコミュニティバス等で結ぶことで地域福祉を推進
- 大学と農家、地元企業等が連携し、豊橋市の特産である次郎柿等を使用した「道の駅」限定の商品開発(6次産業化)を実施

防災 広域・地域の防災活動拠点	地域福祉 交流拠点、交通結節点	産業振興 地産地消、6次産業化による雇用創出
--------------------	--------------------	---------------------------



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)とよはし	愛知県	豊橋市	国道23号(豊橋東BP)	新設	計画中(平成29年)	一体型



<提案の先駆性・ポイント>

- 環境に特化した地産地消型エネルギーインフラの整備、救援部隊活動・自衛隊後方支援・物資提供等の防災活動拠点機能の付加、隣接する緊急輸送道路(国道23号)による東三河南部、静岡県西部における機能損失の低減
- 高齢者の医療や健康や買物等の日常支援、地域福祉に貢献する教室の開講
- 多方面から知恵と情報を集め消費者ニーズの把握と研究等を通じて次世代の地域農業を担う人材の育成、売れる6次産業化商品の開発、農業の魅力発信と人・知恵・情報の集結による新事業の創出等農業と関連産業の活性化を図る

<実施内容>

- 太陽電池・蓄電池・管理装置等の設置、物資等の備蓄倉庫の整備屋内には救援部隊の合同指揮本部、屋外には救援部隊の一時集結ベースキャンプの場を提供
- 周辺地域・道の駅・周辺施設をコミュニティバスや路線バスで接続 プロジェクト施設で健康長寿教室等を開講
- 大学等と連携し、若者・女性など次世代の農業者等のスキルアップ、農家と地元企業等が連携した「道の駅限定おみやげ開発プロジェクト(6次産業化)」による地産地消を進める商品づくり